

敬愛 誠実 努力……都立大森高等学校 令和5年度校長通信

6月28日（水）＜校長から、生徒の皆さんや本校に関心のある方に、折々に伝えたいことを発信します＞

君たちに是非伝えておきたい、最近のうれしかったこと

今月、教育委員会や近隣町会・中学校、行政機関等の方々との会議がいくつかありました。そこで話題になったことの中から、校長としてうれしかったことを、是非君たちに紹介しておきたい。

一つ目、今年は校門外でも校舎内でも、大森高校の生徒がとてもよく挨拶をしてくれますね、と褒められました。二つ目、学校の雰囲気明るくなりましたね、と言われました。

さて、私は4月からの森高しか直接見ていないので、二つ目については比較してコメントしにくいのですが、その場の雰囲気を作り出すのは、その場にいるメンバーに他なりません。つまり、森高の雰囲気を作り出すのは、森高にいる生徒の皆と教職員以外にはあり得ません。前回の校長通信の繰り返しになりますが、挨拶とは、「あなたの存在を私は認識していますよ」という最も基本的な表現方法です。自分とすれ違う誰に対してでも、敬愛の念をもって、自然に挨拶のできる森高生でいてほしい、という私の願いを皆で実現してくれることが、学校全体の雰囲気づくりにもつながっていくのです。

どうか、いつ、いかなる時でも、「礼儀正しい人でいてください」。これは実は、君たち皆が想像するより難しいことかも知れません。しかし、これを目指して誠実に努力することが、君たちの未来を拓くことに必ずつながります。これからも、しつこく、様々な観点から伝えていきたいと思えます。

主体的な学校生活を送るために…「ノンバーバル・コミュニケーション」を意識すること

「ノンバーバル・コミュニケーション」とは、非言語コミュニケーションのことです。つまり、言葉を経由しないで相手に伝えるコミュニケーションの方法のことで、例えば表情やしぐさ、声の強弱や響き、服装、インテリアなどが挙げられます。

では、このイラストのような姿勢は、周囲の人にどのようなメッセージが伝わるでしょうか。

まず、眠いのかな、と思う人が多いでしょう。本当に眠いだけなのでしょう。

ところが、この姿勢をとる場面によって、伝わるメッセージは様々に変化します。

少し条件をつけ足して、何パターンか考えてみましょう。

＜パターン1＞プールの授業のあとの休み時間中

＜パターン2＞2時間目のある教科の授業中

＜パターン3＞文化祭の出し物を話し合っているHR中

パターン1なら、疲れちゃったのね、だるいのね、眠いのね、と伝わるだけで止まりそうです。わかる、私も同じだし、と同意を得られる可能性もあります。プール頑張ったんだよね、と認めてもらえるかも知れません。しかし、パターン2や3だったら？本人の意思とは全く別に、やる気ない、とか、だらしがない、とか、拒否られた等々、マイナスのメッセージを伝えてしまいかねません。実は急に腹痛がひどくなったとか、わからなくて困っているとか、のSOSを伝えるような状況だったとしても、です。

姿勢を崩すと、マイナスのコミュニケーションが生まれます。それは、自分で自分自身の心にも油断していいのだ、というメッセージを伝えてしまうことにもなります。だからこそ、誤解を生むメッセージが伝わらないように心がける必要がありそうです。君はこのことが意識できているだろうか。

